

新しい茅ヶ崎海岸のグランドプラン

平成 18 年 2 月 26 日、旧フィッシュセンター跡地に前日着工された 14 階マンション建設工事が一時中断となりました。

茅ヶ崎市民を中心に、全国から送られた「茅ヶ崎海岸でのマンション建設は好ましくない。」とのエールの声の大きさとその迫力に、マンション事業者は驚きを隠せず、建設工事を中断し、市民が中心となって描く茅ヶ崎海岸の姿に方向を託すことを英断いたしました。

茅ヶ崎海岸グランドプラン推進会議は、このような背景のもと 4 月 1 日に発足し、「茅ヶ崎海岸グランドプラン」の策定に注力してきました。

推進会議での議論のポイントは、「現実と夢」でした。マンション事業者等の地権者のみならず国有地を占有している人たち、海岸を占有している海水浴場組合等、様々な利害関係者が長い歴史を背景に業等を行っている現実の中で、どのような理念がコンセンサスを得られるかが最大の課題でした。

私たちは「夢」を大事にし、次代の人たちにそれを明確なメッセージとして伝えていく役割があることを共有しました。

しかし、その「夢」を一朝一夕に具体化することは不可能であり、「夢」を形にする時期を概ね 20 年後と想定し、目標を明確に示すことを前提に、その実現に向けたプロセスを当面の姿及び方策等として描くこととしました。

その内容が、「新しい茅ヶ崎海岸グランドプラン」です。

このグランドプランの考え方等を踏まえ、マンション業者は撤退し、ブライダル業者に土地を譲渡し、国道 134 号から見て 2 階建てのブライダル施設が 12 月 6 日に着工致しました。

私たちは、今後、茅ヶ崎市を中心とする行政や様々な関係者と連携して「新しい茅ヶ崎海岸グランドプラン」の実現に向けて微力ながらも邁進していく所存です。

茅ヶ崎海岸のあるべき姿＝「夢」の実現に向けたプロセスを全国に向かって発信しようではありませんか。

平成 19 年 1 月

茅ヶ崎海岸グランドプラン推進会議